

授業 科目	情報リテラシー	担当 教員	外部講師 安田 成臣	単位数	1	時期	1年次 4月～
				時間数	15		
<p>目的：情報を取り扱う責任と自覚を持ち、コンピューターの基本的概念や看護における情報の意味や生かし方、守り方について理解できる。</p> <p>目標： 1) 情報やコンピューターの基本的概念が理解できる。</p> <p>2) 情報の重要性や看護・医療における情報の生かし方と守り方が理解できる。</p>							
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	総論、情報の定義と特徴	情報とは、情報の特性 情報の伝達とコミュニケーション、情報化社会		講義 演習	安田		
2	保健医療における情報1	保健医療と情報、看護と情報		講義 演習			
3	保健医療における情報2	医療情報の電子化と医療情報システム 保健医療福祉のネットワークと情報システム		講義 演習			
4	情報と倫理1	情報倫理と医療倫理		講義 演習			
5	情報と倫理2	患者の権利と情報、個人情報の保護		講義 演習			
6	コンピューターとソフトウェアの概論	コンピュータとハードウェア ソフトウェアの分類と各種アプリケーションソフト		講義 演習			
7	情報通信と情報セキュリティ1	情報通信に関する基礎知識 通信プロトコル、通信の速さ		講義 演習			
8	情報通信と情報セキュリティ2 (1h)	インターネットの利用と情報セキュリティ リスクと自衛、SNSにおける問題事例		講義 演習			
評価方法		出席、受講状況、提出物等を総合的に評価					
参考文献と資料		<p>テキスト：看護情報学 (医学書院)</p> <p>配布資料</p>					
事前準備や受講要件等		講師の指示により視聴覚室より学生用パソコンを準備すること。					

授業 科目	情報科学	担当 教員	外部講師 安田 成臣	単位数	1	時期	3年次 4月～
				時間数	30		
<p>目的：看護における情報化に対応できる基礎的能力を習得する。</p> <p>目標：1) 看護に必要な情報収集、情報整理ができる。</p> <p>2) コンピュータの動作、原理、機能について学び、さらに演習をとおして操作方法を習得する。</p>							
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	文献検索	文献とは、文献を探す方法、文献情報を管理する方法		講義 演習	安田		
2	質問紙調査によるデータ収集と各種データの取り扱い1	調査とそのプロセス、調査の計画・準備、調査の実施とデータ収集		講義 演習			
3	質問紙調査によるデータ収集と各種データの取り扱い2	データの取り扱いとデータ処理、データ分析と分析結果の理解		講義 演習			
4	ワードプロセッサソフトウェア総論演習1	ワードプロセッサソフトウェアの基礎知識 文字入力、書体と体裁、印刷と保存		講義 演習			
5	ワードプロセッサソフトウェア総論演習2	ワードプロセッサソフトウェアの基礎知識 文字入力、書体と体裁、印刷と保存		講義 演習			
6	ワードプロセッサソフトウェア総論演習3	ワードプロセッサソフトウェアの基礎知識 ヘッダとフッタ、差し込み印刷、図表番号等の自動化		講義 演習			
7	ワードプロセッサソフトウェア総論演習4	ワードプロセッサソフトウェアの基礎知識 ヘッダとフッタ、差し込み印刷、図表番号等の自動化		講義 演習			
8	表計算ソフトウェア総論演習1	表計算ソフトウェアの基礎知識 データ入力、数式や関数の利用と自動化、印刷と保存		講義 演習			
9	表計算ソフトウェア総論演習2	表計算ソフトウェアの基礎知識 データ入力、数式や関数の利用と自動化、印刷と保存		講義 演習			
10	表計算ソフトウェア総論演習3	表計算ソフトウェアの基礎知識 グラフの作成、他のファイルの参照、簡易データベース		講義 演習			
11	表計算ソフトウェア総論演習4	表計算ソフトウェアの基礎知識 グラフの作成、他のファイルの参照、簡易データベース		講義 演習			
12	プレゼンテーションソフトウェア総論演習1	プレゼンテーションソフトウェアの基礎知識 スライドの作成、書体、印刷と保存		講義 演習			
13	プレゼンテーションソフトウェア総論演習2	プレゼンテーションソフトウェアの基礎知識 スライドの作成、書体、印刷と保存		講義 演習			
14	プレゼンテーションソフトウェア総論演習3	プレゼンテーションソフトウェアの基礎知識 ノート、アニメーション、音声の収録、発表者ツール		講義 演習			
15	プレゼンテーションソフトウェア総論演習4	プレゼンテーションソフトウェアの基礎知識 ノート、アニメーション、音声の収録、発表者ツール		講義 演習			
評価方法		出席、受講状況、提出物等を総合的に評価					
参考文献と資料		テキスト：看護情報学（医学書院） 配布資料					
事前準備や受講要件等		授業開始までに視聴覚ルームより学生用パソコンを準備すること。					

授業 科目	倫理学	担当 教員	外部講師 成瀬 翔	単位数	1	時期	1年次 9月～
				時間数	30		
<p>目的：倫理的課題に気づく感性を養い、自己の倫理観・道徳観を深める。</p> <p>目標：1) 社会におけるさまざまな規範の根拠について考えることができる。</p> <p>2) 倫理的諸問題の内容を理解し、倫理的原則を踏まえて解決する方法を考えることができる。</p>							
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	倫理学の基本的な考え方1	倫理とは何か		講義	成瀬		
2	倫理学の基本的な考え方2	看護論理の定義 倫理的概念		講義			
3	倫理学の基本的な考え方3	倫理学と理論		講義			
4	倫理学の基本的な考え方4	倫理学と哲学		講義			
5	生命倫理1	生命倫理の理論 生命倫理と看護職の責務		講義			
6	生命倫理2	性の生命倫理		講義			
7	生命倫理3	生殖の生命倫理		講義			
8	生命倫理4	死の生命倫理		講義			
9	生命倫理5	移植医療と再生医療をめぐる生命倫理		講義			
10	生命倫理6	先端医療と制度をめぐる生命倫理		講義			
11	看護論理の基本的な考え方1	看護倫理とは何か		講義			
12	看護論理の基本的な考え方2	看護実践における倫理的問題の特徴 分析とモデル		講義			
13	看護論理の基本的な考え方3	看護職と研究倫理		講義			
14	看護論理の基本的な考え方4	専門職の倫理綱領 法的根拠と倫理		講義			
15	まとめ・試験						
評価方法		筆記試験					
参考文献と資料		テキスト：はじめて出会う生命倫理（有斐閣アルマ）					
事前準備や受講要件等							

授業 科目	論 理 学	担当 教員	外部講師 成瀬 翔	単位数	1	時期	1年次 10月～
				時間数	30		
<p>目的：言葉を正しく読み解き、説得力のある議論を書く方法を学ぶ。</p> <p>目標：1) 必要な情報を収集する能力を身につける（文献検索と読解力）  2) 情報を批判的に検討する能力を身につける（クリティーク）  3) 自己の主張を論理的に述べる能力を身につける（ディベート）</p>							
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	ガイダンス	論理的に考えるとは		講義	成瀬		
2	論理的な正しさ	帰納と演繹		講義			
3	誤謬推理	推論の蓋然性		講義			
4	批判	クリティークの方法		講義			
5	文献調査	文献調査の方法		講義			
6	論理的に議論する1	ディベートとはなにか？		講義			
7	論理的に議論する2	ディベートの実践（1）		講義			
8	論理的に議論する3	ディベートの実践（2）		講義			
9	論理的に議論する4	ディベートの実践（3）		講義			
10	論理的に議論する5	ディベートの実践（4）		講義			
11	論理的に議論する6	ディベートの実践（5）		講義			
12	論理的に議論する7	ディベートの実践（6）		講義			
13	論理的に議論する8	ディベートの実践（7）		講義			
14	論理的に議論する9	ディベートの実践（8）		講義			
15	まとめ	全体のまとめ					
評価方法		レポート 50点 ディベート 50点					
参考文献と資料		テキスト：配布資料  参考図書：哲学ディベート＜倫理＞を＜論理＞する（NHKブックス）					
事前準備や受講要件等							

授業 科目	社 会 学	担当 教員	外部講師 謝 卓然	単位数	1	時期	1年次 4月～
				時間数	30		
<p>目的：社会的な存在として人間理解の基礎が出来る。</p> <p>目標：1) 必要な情報を収集する能力を身につける（文献検索と読解力）</p> <p>2) 情報を批判的に検討する能力を身につける（クリテーク）</p> <p>3) 自己の主張を論理的に述べる能力を身につける（ディベート）</p>							
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	オリエンテーション	社会学とは何か？		講義	謝		
2	社会学の中心概念1	社会的行為・相互行為・地位—役割		講義			
3	社会学の中心概念2	集団・組織・ネットワーク		講義			
4	若者の社会学	若者と社会変容		講義			
5	現代社会と家族1	家族の役割と機能		講義			
6	現代社会と家族2	家族の変容と可能性		講義			
7	労働と社会1	働くとはどのようなことか？		講義			
8	労働と社会2	労働とジェンダー		講義			
9	生活と地域社会1	農村の暮らし・都市の暮らし		講義			
10	生活と地域社会2	現代における地域社会と変容		講義			
11	貧困と格差社会	豊かさの中の貧困・格差		講義			
12	政治と社会	私たちの時代の政治とは何か？		講義			
13	グローバル化する社会	私たちの暮らしと国際社会の関係		講義			
14	総論	「標準」の見失われた社会の中で生きる		講義			
15	まとめ・試験						
評価方法		筆記試験					
参考文献と資料		テキスト：社会学（医学書院） 配布資料					
事前準備や受講要件等							

授業 科目	教育学	担当 教員	外部講師 益川 優子	単位数	1	時期	2年次 10月～
				時間数	30		
<p>目的：人間形成における教育の機能と原理を学び、看護における教育的役割に応用できる基礎を学ぶ。</p> <p>目標：1) 人間の発達や教育の思想、制度の観点を学び、幅広い人間理解の視点を身に付ける。</p> <p>2) 様々な場面・分野における教育問題を客観的・複眼的に考察し看護専門職としてのあり方について新たな視点を獲得できる。</p>							
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	教育の本質	人間の成長と教育の意義 ～概念と役割～		講義	益川		
2	教育の対象	人間の生涯発達とこどもの権利		講義			
3	社会変動と教育	消費社会と情報化社会 少子化社会		講義			
4	教育を成り立たせるもの1	教育理論と教育方法 ～学ぶ・教えるということ～		講義			
5	教育を成り立たせるもの2	教育理論と教育方法 ～省察・教える・学ぶの関係のなかでおきること～		講義			
6	現代社会と教育課題1	不登校		講義			
7	現代社会と教育課題2	いじめ		講義			
8	現代社会と教育課題3	学校崩壊		講義			
9	現代社会と教育課題4	スクールカースト		講義			
10	現代社会と教育課題5	ジェンダー、セクシャリティ		講義			
11	現代社会と教育課題6	発達障害、特別支援教育		講義			
12	教育の目標と評価1	評価と目標の関係		講義			
13	教育の目標と評価2	評価の時期と種類		講義			
14	生涯学習	教育心理学と教育方法 大人の学び 成人教育		講義			
15	まとめ・試験						
評価方法		筆記試験					
参考文献と資料		テキスト： 教育学 (医学書院) 配布資料					
事前準備や受講要件等							

授業 科目	心 理 学	担当 教員	外部講師☆ ①中西 詩乃 ②梅村 佳代	単位数	1	時期	1年次 6月～
				時間数	30		
<p>目的：人間の「こころ」を理解することによって、よい人間関係や援助関係をつくるための基礎的知識を習得する。</p> <p>目標：1) 一般的な人間の行動メカニズム、心の動き、欲求について学び、心理学のキーワードを理解する。 2) 心理学の基礎を理解し、科学的（論理的）にこころの理解や援助について考えることができるようになる。</p>							
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	心理学とは	心理学の概要		講義	中西		
2	感覚・知覚	感覚・知覚の諸現象		講義			
3	記憶	記憶のしくみとモデル		講義			
4	学習1	古典条件付け、オペラント条件付け		講義			
5	学習2	社会的学習		講義			
6	情動	感情と情緒、死の受容過程で起きる感情		講義			
7	動機	動機の分類、欲求段階説、コンフリクトと自我防衛規制		講義			
8	性格	性格とその理解、類型論と特性論		講義	梅村		
9	知能	知能の定義、知能検査（ビネー式とウェクスラー式）		講義			
10	発達1	エリクソンの発達段階説とハヴィガーストの発達課題		講義			
11	発達2	ピアジェの思考発達段階説とレビンソンの発達論		講義			
12	臨床1	心理アセスメント		講義			
13	臨床2	様々な心理療法1		講義			
14	臨床3	様々な心理療法2		講義			
15	まとめ・試験						
評価方法		筆記試験					
参考文献と資料		テキスト：看護学生のための心理学（医学書院） 看護のための人間発達学（医学書院）					
事前準備や受講要件等							
☆担当教員の実務経験		①②臨床心理士・公認心理士として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。					

授業 科目	コミュニケーション理論	担当 教員	外部講師☆ 熊谷 直人	単位数	1	時期	1年次 4月～
				時間数	15		
<p>目的：人間関係を形成するために必要な理論及び技法を学び、コミュニケーション能力を高める。</p> <p>目標：1) コミュニケーションの重要性を学び、日頃の自分のコミュニケーションを振り返る。</p> <p>2) コミュニケーション技法を活用し、コミュニケーション能力を日常生活の中でみがいていく。</p>							
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	コミュニケーションとは	コミュニケーション能力向上のための基礎知識		講義	熊谷		
2	コミュニケーションスキル1	効果的な聞き方・話し方		講義			
3	コミュニケーションスキル2	交流分析とエゴグラム		講義			
4	コミュニケーションスキル3	アサーションを用いたコミュニケーション		講義			
5	コミュニケーションスキル4	コミュニケーション技法の活用1		講義			
6	コミュニケーションスキル5	コミュニケーション技法の活用2		講義			
7	コミュニケーションの問題	感情転移などのさまざまなコミュニケーションの問題を考える		講義			
8	試験(1h)			講義			
評価方法		筆記試験					
参考文献と資料		テキスト：看護コミュニケーション 基礎から学ぶスキルとトレーニング (医学書院)					
事前準備や受講要件等		自由記述のアンケートも参考にしながら、講義内容を決めていく予定です。学生とのコミュニケーションから生まれるものを使いながら講義を進めていきたいと思いますので、積極的にコミュニケーションにチャレンジしてください。					
☆担当教員の実務経験		臨床心理士として医療機関、行政機関や教育機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。					

授業 科目	人間関係論	担当 教員	外部講師 益川 優子	単位数	1	時期	1年次 4月～
				時間数	30		
<p>目的：人間関係の意義とよりよい関係のあり方、さらに自己理解・他者理解と関わり方を学び自己の成長を図ると共に看護に応用できる能力を養う。</p> <p>目標：1) 人間関係の成り立ち、関係のあり方が理解できる。 2) 人間関係における種々の心理が理解できる。 3) 人間関係をより円滑にする態度が理解できる。</p>							
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	序論	人間関係論の基本的視点と発達による変化		講義	益川		
2	人間関係と認知 1	自我と自己		講義			
3	人間関係と認知 2	印象形成		講義			
4	人間関係の成立 1	親和動機・好意		講義			
5	人間関係の成立 2	対人関係の破綻		講義			
6	人間関係の維持 1	言語・非言語コミュニケーション		講義			
7	人間関係の維持 2	アサーション		講義			
8	集団の中の個人 1	援助行動と生起		講義			
9	集団の中の個人 2	集団とパニック行動		講義			
10	集団の中の個人 3	支配と服従		講義			
11	集団の中の個人 4	同調と少数派の影響、リーダーシップ		講義			
12	集団と集団 1	差別と偏見		講義			
13	集団と集団 2	集団間葛藤とその解消		講義			
14	新たな人間関係	SNSによる人間関係の長短		講義			
15	まとめ・試験						
評価方法		筆記試験					
参考文献と資料		テキスト：配布資料					
事前準備や受講要件等							

授業 科目	文化人類学	担当 教員	外部講師 石井 祥子	単位数	1	時期	2年次 10月～
				時間数	30		
<p>目的：日常生活における「文化」の諸相を理解し、自分とは異なる様々な文化を持つ「他者」を理解するための基本を習得する。</p> <p>目標：1) 文化の多様性と普遍性を知る。 2) 伝統社会における死生観を知る。 3) 自らの常識にとらわれず、他者理解に取り組む姿勢を身につける。</p>							
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	文化人類学とは1	モンゴルでのフィールドワーク		講義	石井		
2	文化人類学とは2	マリノフスキーとフィールドワーク		講義			
3	日本1	山形および石垣島の生活と文化		講義			
4	日本2	アイヌ民族の歴史と文化		講義			
5	中国	台湾・漢民族の生活と文化		講義			
6	韓国	韓国旧地主の生活と文化		講義			
7	北アメリカ	アメリカ先住民の生活と文化		講義			
8	南アメリカ	ペルーの生活と文化		講義			
9	東南アジア	インドネシアバリ島およびトバ・バタックの生活と文化		講義			
10	ヨーロッパ	イタリア・アルペロベッコの生活と文化		講義			
11	学外活動1	リトルワールド見学・体験		演習			
12	学外活動2	リトルワールド見学・体験		演習			
13	学外活動3	リトルワールド見学・体験のまとめ		演習			
14	インド	ナヤールの生活と文化		講義			
15	まとめ・試験						
評価方法		筆記試験70点、レポート30点					
参考文献と資料		テキスト： 配布資料					
事前準備や受講要件等		テーマについて、事前にインターネット等で資料を集めて参加すること					

授業 科目	外国語 I	担当 教員	外部講師 Wayne Cuthbert	単位数	1	時期	2年次 4月～
				時間数	30		
<p>目的：国際社会へ対応できるための公用語を習得する。</p> <p>目標：医学・看護用語の理解ができる。</p>							
回数	学習課題	内 容		方 法		担当教員	
1	レッスン1～2	挨拶・自己紹介		演習		Wayne Cuthbert	
2	レッスン3～4	看護技術・症状・受付・会計		クイズ1・演習			
3	レッスン5～6	風邪・胃の痛み・内科、慢性腎不全、関節症		クイズ2・演習			
4	レッスン7～8	外科、胆石症・虫垂炎・小児科、喘息、摂食障害		クイズ3・演習			
5	レッスン9～10	眼科・皮膚科・泌尿器科		クイズ4・演習			
6	レッスン11～12	産科・放射線科・歯科		クイズ5・演習			
7	レッスン13～14	救命救急・肺癌検査・乳癌検査		クイズ6・演習			
8	レッスン15～16	心臓検査・入院手続き・病室にて		クイズ7・演習			
9	レッスン17～18	脳卒中・心臓ペースメーカー・手術後など		クイズ8・演習			
10	レッスン19～20	糖尿病・退院指導・内分泌疾患		クイズ9・演習			
11	発表	グループ発表（レッスン1～20）		演習			
12	発表	グループ発表（レッスン1～20）		演習			
13	復習	復習やクイズのやり直し		演習			
14	復習	復習やクイズのやり直し		演習			
15	まとめ・試験	試験の範囲（クイズ1～9）					
評価方法		提出物、クイズ、口頭発表、テスト等を総合的に評価					
参考文献と資料		テキスト：看護英会話入門（医学書院）					
事前準備や受講要件等		英和辞典を必ず準備すること。					

授業 科目	外国語Ⅱ	担当 教員	外部講師 各務 眞弓 赤木 美津江 ヴァンフェロー 和美	単位数	1	時期	3年次 7月～
				時間数	30		
<p>目的：国際社会へ対応できるための言語を習得する。</p> <p>目標：1) 多文化共生の地域作りとポルトガル語について知る。</p> <p>2) 英文の解釈ができ、英語で自分の考えが発表できる。</p>							
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	多文化共生の地域作り	1) 国際交流センターの活動 2) 多文化共生の地域作りとは		講義	各務		
2	諸外国の文化	1) 諸外国の文化の特徴 2) ブラジルの文化と特徴 3) 日本人移民について		講義			
3	日本での生活とポルトガル語	1) 日本に暮らすブラジル人が直面する課題 2) ポルトガル語の由来		講義	赤木		
4	ポルトガル語の基礎	1) アルファベット・アクセント・発音		講義・演習			
5	ポルトガル語のコミュニケーション 1	1) 基本の挨拶 2) 日常生活の名詞		講義・演習			
6	ポルトガル語のコミュニケーション 2	1) 自己紹介・相手を知る		講義・演習			
7	ポルトガル語のコミュニケーション 3	1) 医療用語・症状		講義・演習			
8	自己紹介・授業開き	1) 自己紹介 (self introduction) 2) スピーチトピック紹介 My dream (原稿作成→提出) 3) テキスト紹介		講義 演習	ヴァンフェロー		
9	Chapter1: The Need for Change	1) スピーチの練習 2) テキスト：新出単語、英語表現、本文内容読解		講義 演習			
10	Chapter 2: The Discovery of the Right Ideas	1) スピーチ (名) 2) 小テスト 3) テキスト：新出単語、英語表現、本文内容読解		講義 演習			
11	Chapter 3: The Challenge to Segregation	1) スピーチ (名) 2) 小テスト 3) テキスト：新出単語、英語表現、本文内容読解		講義 演習			
12	Chapter4: The people Organize	1) スピーチ (名) 2) 小テスト 3) テキスト：新出単語、英語表現、本文内容読解		講義 演習			
13	Chapter 5: The Right Leadership	1) スピーチ (名) 2) 小テスト 3) テキスト：新出単語、英語表現、本文内容読解		講義 演習			
14	Chapter 6: The Testing of an Idea	1) スピーチ (名) 2) 小テスト 3) テキスト：新出単語、英語表現、本文内容読解		講義 演習			
15	まとめ・試験：Exam			講義 演習			
評価方法		回数1～7 レポート 回数8～15 小テスト、スピーチ評価点、筆記試験					
参考文献と資料		テキスト： 回数1～7 配布資料 回数8～15 Martin Luther King マーチン・ルーサー・キング (開拓社)					
事前準備や受講要件等		回数8～15 英和辞典もしくは電子辞書を持参すること。 テキスト、ノート持参すること。 レッスン前に小テストの準備、テキストの予習を必ず行うこと。					

授業 科目	保健体育	担当 教員	外部講師 岩崎美紀	単位数	1	時期	3年次 4月～
				時間数	30		
<p>目的：スポーツ（集団球技・集団競技）を通して、心身共に健康の意義を学ぶ。</p> <p>目標：1）体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を養う。</p> <p>2）実践を通して、運動の楽しさや喜びを深め、さらに仲間との交流を深める。</p>							
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	オリエンテーション	自己紹介・健康とスポーツ		講義	岩崎		
2	球技を楽しむ1	実技実施（バレーボール）		実技			
3	球技を楽しむ2	実技実施（バレーボール）		実技			
4	球技を楽しむ3	実技実施（バレーボール）		実技			
5	球技を楽しむ4	実技実施（バレーボール）		実技			
6	球技を楽しむ5	実技実施（バスケットボール）		実技			
7	球技を楽しむ6	実技実施（バスケットボール）		実技			
8	球技を楽しむ7	実技実施（バスケットボール）		実技			
9	球技を楽しむ8	実技実施（バスケットボール）		実技			
10	球技を楽しむ9	実技実施（ボーリング）		実技			
11	球技を楽しむ10	実技実施（ボーリング）		実技			
12	球技を楽しむ11	実技実施（卓球とバドミントン）		実技			
13	球技を楽しむ12	実技実施（卓球とバドミントン）		実技			
14	球技を楽しむ13	実技実施（卓球とバドミントン）		実技			
15	まとめ・試験			実技			
評価方法		実技、出席状況を総合的に評価					
参考文献と資料		テキスト：配布資料					
事前準備や受講要件等		主に多治見市総合体育館で行います。 トレーニングウェア、体育館用シューズを各自用意してください。					

授業 科目	生涯学習入門 I	担当 教員	専任教員☆	単位数 時間数	1 15	時期	1年次 4月～
<p>目的 :看護学校で主体的に学ぶ意義を理解し、自ら考え、基礎的な知識・教養を身につけていくためのスキルを習得する。</p> <p>目標 : 1) 高校までとの学びの違いや、看護学生に求められる能力について考える。 2) 社会生活・学校生活における基本的なルールや方法を身に付け、学生生活の中で実践できる。 3) ボランティア活動を通して、互惠互助の視点を育む。 4) リフレクションを通して、自ら学び成長するための気づきを養う。</p>							
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	看護学校で学ぶ意義	学び方のマナー、卒業を見据えた学習計画の立案、大人の学び・生涯学習、学習の仕方		講義	専任教員		
2	自己管理能力	学生規範・時間管理 看護学生としてのSNS、倫理観 ボランティア、インターシップの推進		講義			
3	対人関係を築く力	グループディスカッションの目的・方法・役割の理解 グループディスカッションの実際		演習			
4	互惠性の育み	ボランティア活動体験の振り返り ボランティア活動の魅力		講義			
5	キャリアビジョンの育成1	キャリアデザイン		演習			
6	キャリアビジョンの育成2	卒業生と語る会 自己のキャリアアップ		演習			
7	気づきの育成 (3h)	リフレクション 振り返り、自分を知る大切さ 自ら学び成長するための気づき		演習			
評価方法		レポート、グループワークなどを総合的に評価					
参考文献と資料		必要時資料配布					
事前準備や受講要件等		毎回目的を明確にして、授業に臨むこと。					
☆担当教員の実務経験		看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。					

授業 科目	生涯学習入門Ⅱ	担当 教員	専任教員☆① 外部講師☆ ②クリティカルケア 認定看護師 ③透析看護認定看護師	単位数 時間数	1 15	時期	3年次 4月～
<p>目的 卒業後を見据え、課題解決に向けて考え抜く力を養う。</p> <p>目標 1) 資格取得と進路について考え、前に踏み出す力を養う。</p> <p>2) ボランティア活動の実践を通して、チームで働く力を養う。</p> <p>3) 職業的アイデンティティを育成する力を養う。</p>							
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員	
1	キャリアプランの育成1	自己のキャリア形成に向けて 就職試験の心構え (エントリーシート・面接における留意事項)			講義	専任教員	
2	キャリアプランの育成2 (3h)	模擬面接			講義		
3	キャリアプランの育成3	キャリアビジョンと生涯学習 卒業生のキャリア形成から学ぶ			講義	クリティカルケア 認定看護師 透析看護 認定看護師	
4	プロジェクトマネジメン ト	ボランティア活動報告会			演習	専任教員	
5	職業アイデンティティの 育成1	看護師資格と社会の動向 資格取得に向けた心構え 国家試験受験に向けた手続き			講義		
6	職業アイデンティティの 育成2	資格取得のために必要な準備 国家試験受験に向けた手続き			講義		
7	気づきの育成	リフレクション 看護専門職に向けての自己の課題の明確化、言語化			演習		
評価方法		レポート					
参考文献と資料		必要時資料配布					
事前準備や受講要件等		毎回目的を明確にして、授業に臨むこと。					
☆担当教員の実務経験		①看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ②クリティカルケア看護認定看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ③透析看護認定看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。					